

各 支 部 長 殿

公益社団法人日本食品衛生協会  
理事長 鵜飼 良平

**「食品製造の現場における異物対策基本技術講習会」(第4回)のご案内**

当協会の事業運営に関しましては、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、食品衛生研究所では、食品の検査や品質管理等の業務に携わる方々への知識、技術の向上を支援するため技術研修室を設置し、各種実習・研修会を開催しておりますが、このたび、品質管理業務等に携わるご担当者を対象に、食品製造工場における異物混入防止に必要な考え方、知識を身につけていただき、苦情対応や発生予防対策を円滑に進めていただくための講習会を開催する運びとなりました。

標記講習会では、イカリ消毒株式会社にご協力をいただき、異物混入対策の全体像を演習、実習を交えた現場に役立つ、実践的なカリキュラムを用意いたしました。品質管理の経験が少ない方にも理解し易い平易な内容としています。異物混入対策の基礎編、入門編としてご活用いただけます。(食協会員は、割引価格で受講いただけます)

つきましては、貴支部ならびに貴支部管内の会員の皆さまや各講習会に出席の方々に、別紙により当講習会開催のご案内を賜りますようお願い申し上げます。

記

開催日時：令和2年2月20日(木)(研修カリキュラム参照)

開催場所：(公社)日本食品衛生協会 食品衛生研究所 技術研修室  
東京都町田市忠生2-5-47

小田急・JR町田駅よりバス20分(HP案内図参照)

定 員：36名(定員になり次第締め切らせていただきます。)

受 講 料：食協会員・特別会員 33,000円 (一般 38,500円)  
(いずれも消費税および昼食代を含みます)

申込方法：別紙の「受講申込書」をご記入いただき、メールにて  
[kenshu@jfha.or.jp](mailto:kenshu@jfha.or.jp)へお申し込みください。

「受講申込書」は、当協会ホームページからダウンロードもできます。

※実習時に獣毛等を使用する場合があります。獣毛のアレルギーなどをお持ちの方は、申込書にその旨をお書きください。

締 切 日：2月13日(木)

※受講申込書到着後、参加証をメールにて送付いたします。

受講料は2月17日(月)までに請求書に記載の口座へご入金  
いただきますようお願いいたします。

協 力：イカリ消毒株式会社

お問い合わせ先 検査事業部管理課 布村

TEL：042-789-0212/FAX：042-789-0358/E-Mail：[kenshu@jfha.or.jp](mailto:kenshu@jfha.or.jp)

—異物混入事故削減に向けて—  
**食品製造の現場における異物対策基本技術講習会**

テーマ	異物混入防止対策(異物鑑定技術体験講座)				
目的	食品製造工場における異物苦情で必要となる異物の鑑定技術の基本を体験する				
概要	1. (講義)異物混入防止のための基本的な考え方と本講座の位置づけ 2. (演習)異物混入につながりやすい製造現場で見かける昆虫類の分類とその特性 実物観察演習《昆虫》 3. (演習)異物混入が発生した際の適切な検査設計の行い方 4. (演習)異物混入でみられる毛髪の基本と検査手法 5. (実習)異物クレーム分析模擬演習				
日時	2020年2月20日(木) 9:45～17:30				
場所	(公社)日本食品衛生協会 食品衛生研究所				
対象	品質管理担当者から品質管理責任者および品質保証担当者				
定員	36名				
内容	項目		時間	所要 時間	場所
	受付		9:30 ~		3F講堂
	オリエンテーション		9:45 ~ 10:00	0:15	3F講堂
	1 講義: 異物混入防止のための基本的な考え方と本講座の位置づけ 【講師】公益社団法人 日本食品衛生協会 技術参与 佐藤 邦裕 ・本講座における目的と、異物におけるクレーム対応(異物混入対策)の考え方を解説する。		10:00 ~ 10:30	0:30	6F 研修室
	2 実習: 異物混入につながりやすい製造現場で見かける昆虫類の分類とその特性 【講師】一般財団法人環境文化創造研究所 ・食品におけるクレーム等でみられやすい昆虫や食品等の製造現場でみられる昆虫の分類とその代表的な種類、特徴を解説し、自分たちで簡易的な同定ができるような技術習得を目指す 実物観察実習(昆虫) ・昆虫の実物標本を基に、ルーペや顕微鏡を用いて観察、同定を行う。		10:30 ~ 12:30	2:00	
	休憩 昼食		12:30 ~ 13:15	0:45	
	3 実習: 異物混入が発生した際のアタリの付け方 【講師】イカリ消毒株式会社 LC環境検査センター ・異物混入等で必要となる鑑定検査の流れ、自分たち及び検査機関でできる事・できない事の整理 ・適切な検査を行うための異物苦情等の検査依頼のかけ方 ・カタラーゼ試験についての注意事項と操作手法		13:15 ~ 14:15	1:00	6F 研修室
	休憩		14:15 ~ 14:25	0:10	
	4 実習: 異物混入でみられる毛髪の基本と検査手法 【講師】イカリ消毒株式会社 LC環境検査センター ・異物混入等で必要な「毛髪の基本知識」を学ぶ。 ・毛髪の異物分析の基本的な流れを実習する(スンプ標本作成など)。 ・人毛、動物毛(特にペットや被服に使用される動物毛)を区別する。		14:25 ~ 15:55	1:30	
	休憩		15:55 ~ 16:05	0:10	6F 研修室
	5 実習: 異物クレーム分析模擬演習 【講師】イカリ消毒株式会社 LC環境検査センター ・模擬的に作成した複数の異物を用いて、簡易同定を実施する。 ・カタラーゼ試験などを行って、混入経路の推察等も実施する。		16:05 ~ 17:15	1:10	
クロージング ・質問受付と返答 ・クロージングコメント(演習を通して感じたこと)		17:15 ~ 17:30	0:15		

申込書送付先 E-mail: kenshu@jfha.or.jp

公益社団法人日本食品衛生協会 食品衛生研究所 行

S

### 「食品製造の現場における異物対策基本技術講習会」

#### 受講申込書

本研修をどのようにして知りましたか？（✓印をお願いします）

- 日食協 HP                                       日食協の食品衛生メールマガジン  
 日食協からのDM・お知らせ               日食協の月刊誌「食と健康」               上司の紹介  
 以前の参加者からの勧め                   その他.....

年 月 日

(フリガナ) 会社名			
所属・役職		異物検査の 経験	
(フリガナ) 氏名		有 ・ 無	
連絡 先	E-mail		
	TEL		
	FAX		
	住所	〒	
ご所属の食協名	※日食協特別会員、または〇〇食品衛生協会		
請求書の宛名	※上述の会社名と異なる場合にご記入ください。		
※実習時に獣毛等を使用する場合があります。獣毛のアレルギーなどをお持ちの方は、その旨をお書きください。			

- ① 参加証と請求書をメールにて送信いたしますので、E-mail アドレスは必ず記入下さい。
- ② 受講料は請求書受領後、2月17日（月）までに指定口座にお振り込み下さい。  
振込先口座につきましては、請求書に記載いたします。  
また、振込手数料はご負担下さい。
- ③ 一旦納入いただきました受講料につきましては理由の如何を問わずお返しいたしません。